

2020 年度第 3 回 N P O 法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2020 年 9 月 25 日（金） 午後 8 時 00 分から
- 2 方 法：ZOOM アプリを媒介にしての遠隔会議
- 3 議決権のある理事：7 名
出席者：座間直壯、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、堀 渡
欠席者：堀越洋一郎
事務局員の参加者：蓑田明子

（1）第 1 号議案 会員の動向について【報告】

- ・2020 年 8 月 31 日現在
正会員 83 名 2 団体 賛助会員 39 名 1 団体、計 122 名 3 団体（合計 125）
（前回、6 月の理事会時と同じ。本年 2 月には、合計 130 名だった）

（2）第 2 号議案 共同保存をめぐる提案や各地の動きについて【報告・協議】

- ・前回理事会で情報としては報告しているが、昨年度に続けて『公立図書館における蔵書構成・管理に関する実態調査報告書 2019 年度（令和元年度）』が、全国公共図書館協議会によって、3 月付けで発表され、都立中央図書館のウェブサイトの、全公図の資料ページで公開されている。予定されていた 2 年継続の調査事業のまとめの報告で、132 ページもあり充実している。
- ・第 2 章「調査分析」も丁寧で充実しているが、第 3 章には、愛知県、滋賀県、京都府の地域の共同保存の事例が各県図書館によって最新情報で報告されており、貴重である。（事例報告では扱われていないが、前年の報告書にあった三重県の実態はどうか、注目される）
- ・また、第 4 章「まとめと助言」は、助言者の伊藤民雄氏によって書かれ、「国家的な資料保存方針の策定の必要性」（p117）という提起があり、「除籍・共同保存の予備調査法の確立」（p118）という評価で、多摩デポ及び多摩地域公立図書館の実践が取り上げられている。
（この『調査報告書』の今後の反響を注視したい。伊藤氏は昨年度に多摩デポ講座の講師をしていただいているが、再度お話を伺ってもいいのではないかと）→広く参加者を募る形にはならないかもしれないが、お話を伺う場が設定できるとよい。
- ・また静岡県立図書館が新館建設を計画中で、県内の住民団体「静岡図書館友の会」が、「新たな県立図書館に望むこと」を県内の市町立図書館、大学図書館にアンケート調査を取り、結果を 6 月に発表している。その設問項目に「デポジット・ライブラリー機能」があった。回答では、76%の図書館が望むことに挙げている。また、注のデポジット・ライブラリーの説明では、多摩デポHPの記述から引いているなど、この問題への関心のすそ野や、多摩デポの活動が踏まえられていることが推測でき、心強い。
- ・「友の会」が作成、提案している『しずとも「図書館を知る」シリーズ 図書館見学マニュアル 都道府県立図書館編』（2017）を見ると、「資料・蔵書」の項目の中に、Q5 デポジット・ライブラリー：県内図書館との資料保存ネットワークの構築を主導し、県単位での資料保存を進めているか？というチェック項目がある。以前から、この機能に注視してきたことが分かる。

(3) 第3号議案 コロナ禍での公共図書館の運営をめぐる情勢について【報告・協議】

- ・多摩地域では、慎重を期しながら、活動を再開し維持しているようである。
- ・おはなし会や集会行事、対面朗読など、市にもよるが、再開できていない事業もある。
- ・電子書籍の貸出について、以前から行っていた八王子市、狛江市での開始などに反響があるようだ。
- ・来年度の予算編成が始まっており、厳しいものになることも予想されている。
- ・情報や意見交換を行った。

(4) 第4号議案 本年度の事業の見通しについて【報告・討議】

- ・7月に調布市から里親本の提供（7人の個人作家の文学全集）の申し出があり、多摩地域での所蔵調査の上、募集をかけた。応募は5市あったが、重複タイトルを調整の上、8月末に2市に配達できた。この事業は図書館からの申し出待ちとなる。
- ・TAMALAS 一括処理システムのID、パスワードは6月に府中市に発行して、10市に提供ということになっている。
- ・一時期、幾つかの市で書庫の点検・整理を盛んに行っている情報があったが、最近は不明。
- ・コロナ問題が沈静化したとは言いがたいが、年度の後半には、状況を踏まえて行える活動に取り組んでいきたい。
- ・まず、多摩デポ講座とカーリルとの研究会の再開が課題だろう。

(5) 第5号議案 多摩デポ講座の企画と開催について【報告・討議】

- ・コロナ問題の影響で中止した山口源治郎氏の総会記念講演会を、ZOOMを使った録画配信による方法を含め、年内に多摩デポ講座として行いたい。
- ・ZOOMを年間契約したので、山口氏にどこかで話してもらえれば録画を配信することができる。（録画でなくリアルな配信提供もありうるが、我々だけでは技術的にリスクがありそう）。
- ・環境に注意し参加人数を限定すれば、会場を借りて参加者を募集してもいいのではないか。
- ・11月頃に開催できれば、年度内に多摩デポブックレットにして発行することも可能だろう。
→ 山口氏に打診し、開催の準備を始める。
- ・予定を立てた、都立中央図書館、東京都公文書館の見学会等はまだ無理がある。
- ・資料保存および共同保存の取組みの全国調査について提言した伊藤民雄氏の話聞く会も意義がある。前回の理事会で、現場職員や図書館長の出席や協力が得られるようなら、多摩地域の図書館のコロナ対応の報告やこの間に見えてきた課題などについての意見交換の会を持ちたいと議論した。1月から3月には、このどちらかが開催できるとよい。

(6) 第6号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・討議】

- ・定例会は1月に開催して以降、開けていない。ウェブ会議に切り替えたいとのカーリルからの提案を了承したまま中断した。
- ・7月に、吉本氏を交えて座間、堀、斎藤の4人でテストを兼ねてZOOM会議で事前打ち合わせを行った。吉本氏からは、コロナ禍の中でこれまでの作業は一旦凍結し、今必要なことを最優先

で取り組んでいきたい旨の考えが示された。

- ・その経過を報告し、今後について検討した。多摩デポとしてこれまでの宿題や現状を検討し、カーリルとの共同研究会を再開することを決めた。

(7) 第7号議案 多摩デポの今後の方向性について【報告・討議】

- ・ZOOMを契約したこともあり、可能なら理事会をもう少し頻繁に開けないか。
- ・多摩デポの今後の長期的な活動の方向性や、短期的にも目指すこと、組織の在り方など、余裕をもって意見交換も図れないだろうか。
 - ZOOMを使って定期の理事会は今まで通り隔月開催とし、間の月に事務局員も含めた拡大理事会としてフリートーキングの会を実施する。1回目を10月9日に開く。

(8) 情報交換

- ・理事長と事務局長で検討の上、6/22にZOOM有料サービスの年間契約をした。
- ・理事長と事務局長は、近々、東京都市町村立図書館長協議会の三役会に挨拶に行くことを予定している。(館長会の役員の任期が変わるたびに伺っているが、今期はコロナ禍でまだ行けないでいるため)
- ・事務所データの整理 → 外付けHDへの保存は半分強済んでいるが、中断している。
- ・出版ニュース社から提供された図書館関係本の図書館への斡旋 → 残りは奥多摩ブックフィールドへ移送もありうる。
- ・奥多摩の出版ニュースアーカイブの現状 → データ上の分類別リストと現物の突合のため、棚に当たって作業中。

【多摩デポ関係記事】

- ・静岡図書館友の会の県立図書館新館についてのアンケートの、デポジット・ライブラリーの定義の説明に、多摩デポHPからの引用が使用されている。

【共同保存図書館関連論文】

- ・特になし

【今後の予定】

- ★ カーリルとの共同研究 第45回定例会
- ★ 事務局会議(2020年度第3回)
- ★ 拡大理事会 10月9日(金)午後8時～ ZOOMを使って
- ★ 次回の定例理事会 第4回理事会 11月 日() 午後 時 分～

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、田中ヒロ理事、堀 渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2020年9月25日

議長

議事録署名人

議事録署名人